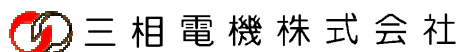


平成 18年度 (第 50期)

中間決算説明資料



平成 18年 12月 12日

SANSO ELECTRIC CO.,LTD.

< 目次 >

1. 中間決算の概況

- (1) 上半期の取り組み
- (2) 中間損益計算書
- (3) 中間貸借対照表
- (4) 中間キャッシュ・フロー計算書

2. 株価の推移

3. 今後の取り組み

- (1) 基本政策
- (2) 製品開発
- (3) 販売展開
- (4) 生産体制

4. 業績の見通し

SANSO ELECTRIC CO.,LTD.

1. 中間決算の概況

営業の概要

(単位:百万円)

	連 結				個 別			
	17/9期	18/9期	差額	前期比	17/9期	18/9期	差額	前期比
売上高	6,012	6,264	252	104.2%	5,732	5,894	162	102.8%
営業利益	148	46	102	31.2%	80	10	70	12.8%

売上高

ポンプ用モータ、特注仕様ポンプの受注増加

販売価格の値上げ交渉が難航

製造原価

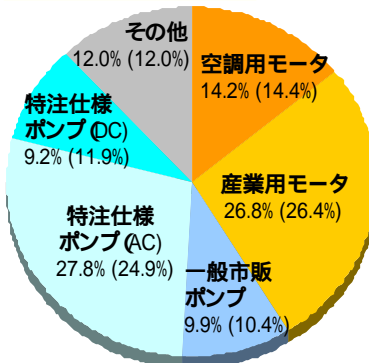
銅やアルミなどの原材料が引き続き高騰(影響額 約1億30百万円増)

その他

製品補償引当金を特別損失で4億67百万円計上

品目別売上高構成(個別)

平成18年度(上半期)



売上高 58億94百万円

営業利益 10百万円

(注)()内の数値については、平成17年度上半期の構成比

品目区分	主な用途(一例)
空调用モータ	ルームエアコン用、パッケージエアコン用 他
産業用モータ	送風機用、ポンプ用、変減速機用 他
一般市販ポンプ	家庭用井戸ポンプ、給湯加圧ポンプ 他
特注仕様ポンプ(AC)	食器洗浄機用、半導体製造設備用 他
特注仕様ポンプ(DC)	給湯暖房機用、電気温水器用 他
その他	サービス用パーツ、金型 他

AC = 交流電源 DC = 直流電源

(1)上半期の取り組み

収益力強化

販売価格の値上げ交渉 (下半期より徐々に効果)

購買部門の統一により購入価格の交渉力を強化

部材の海外調達率を高め、コストダウンを図る。

信頼性向上

製品の信頼性をより高めるため、ポンプ試験棟の建築

環境への対応

環境マネジメントシステム (ISO 14001)の認証取得

高効率、低消費電力の製品ラインナップの強化



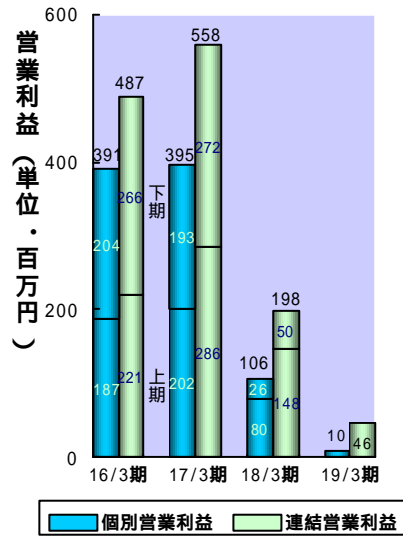
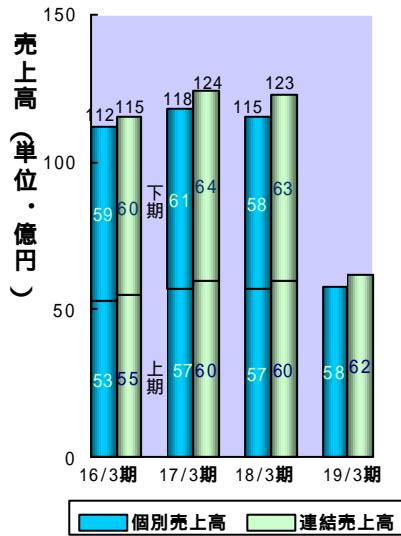
(2)中間損益計算書 (P/ L)

(単位 :百万円)

	連 結			個 別		
	17/9期	18/9期	前期比	17/9期	18/9期	前期比
売 上 高	6,012	6,264	104.2%	5,732	5,894	102.8%
営 業 利 益	148	46	31.2%	80	10	12.8%
経 常 利 益	160	73	45.7%	96	36	37.5%
当期中間純利益	118	238	-	71	259	-
売上高経常利益率	2.7%	1.2%	1.5P	1.7%	0.6%	1.1P
1株当たりの 中間純利益	25円 92銭	52円 30銭	-	15円 70銭	57円 03銭	-

経常利益については、原材料の高騰を増収でカバーできず減益
特別損失にて、製品補償引当金 (4億 67百万円)を計上

売上高・営業利益の推移グラフ



(3) 中間貸借対照表 (B/S)

連結 平成18年9月30日 (単位: 百万円)

流動資産 8,393	流動負債 3,171
	固定負債 2,107
固定資産 3,810	純資産 6,924
資産合計 12,203	負債純資産合計 12,203

	17/9期	18/9期
自己資本比率	60.4%	56.5%
1株当たりの純資産	1,552円 52銭	1,512円 04銭

個別 平成18年9月30日 (単位: 百万円)

流動資産 7,426	流動負債 2,987
	固定負債 2,042
固定資産 3,780	純資産 6,177
資産合計 11,207	負債純資産合計 11,207

	17/9期	18/9期
自己資本比率	58.8%	55.1%
1株当たりの純資産	1,417円 62銭	1,355円 39銭

(4)中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	17/9期	18/9期	増減 差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	682	53	629
投資活動によるキャッシュ・フロー	200	587	387
財務活動によるキャッシュ・フロー	55	54	+ 1
現金及び現金同等物にかかる換算差額	12	15	+ 2
現金及び現金同等物の増加額	439	573	1,014
現金及び現金同等物の期首残高	1,784	2,129	+ 345
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,224	1,555	668

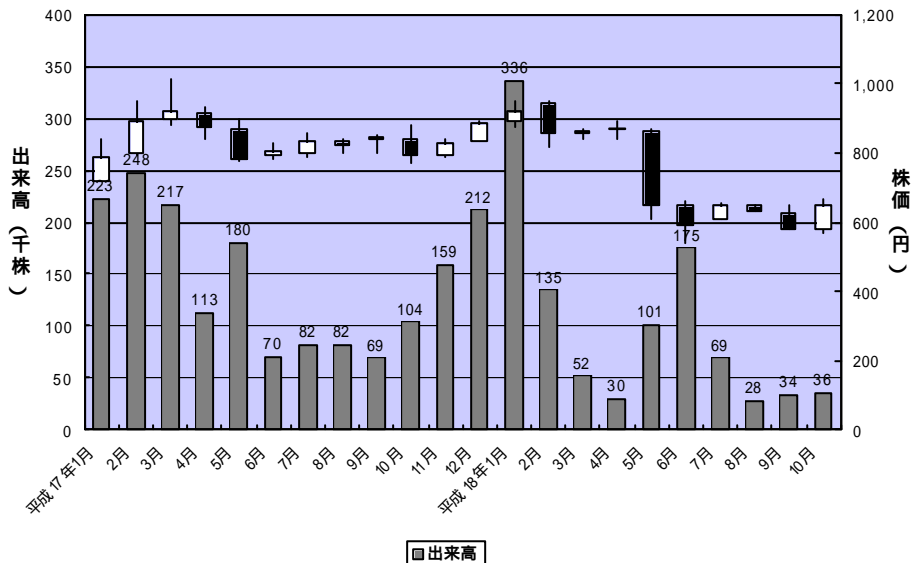
営業活動によるキャッシュ・フロー

製品補償引当金	4億32百万円	増加
仕入債務	1億64百万円	増加
税金等調整前中間純損失	4億8百万円	減少
たな卸資産の増加要因	1億66百万円	減少



増加要因と減少要因により相殺

2. 株価の推移



3. 今後の取り組み

(1) 基本政策

コンプライアンス (Compliance)

法令順守の管理体制を確立し、社会的に信頼される企業を目指す。(金融商品取引法への対応)

コンペティティブ (Competitive)

ライバルに引けを取らない製品の提供により市場をリードする。

ゼロ・エミッション (Zero-Emission)

地球環境を考えゴミの極小化を進めるとともに、環境負荷の少ない製品開発を行う

(9)

(2) 製品開発

PSPZ型

自吸式ヒューガルポンプ

低消費電力 56%低減
超低騒音 10dB低減



PMD S型

自吸式マグネットポンプ

高効率 (ポンプ効率 20%向上)
コンパクト (重量 20%軽減)



環境適合製品

省エネ・高効率・コンパクト

SHC型 (直流タイプ)

給湯加圧ポンプ

高性能 (1.5倍の高揚程を実現)
低消費電力 15%低減
エコキュート対応



PDH - 751型

DCキャンドモータポンプ

高効率 (ポンプ効率 30%向上)
コンパクト (重量 30%軽減)



(10)

(3)販売展開

新規分野への製品展開

- ・医療分野・・・レーザーメス温調用、胃カメラ洗浄用
- ・ケミカル分野・・・基板洗浄用、メッキ処理用
- ・工作機械・・・金型温調用、半導体製造装置用
- ・調理器具・・・製氷機用、業務用食器洗浄機

素材価格の上昇を考慮した価格設定

地域密着型営業

- ・営業所の増強



(11)

(4)生産体制

生産性の向上

- ・セル生産体制、加工部品のインライン化
- ・リードタイムの短縮により、仕掛品在庫削減

海外調達率の向上

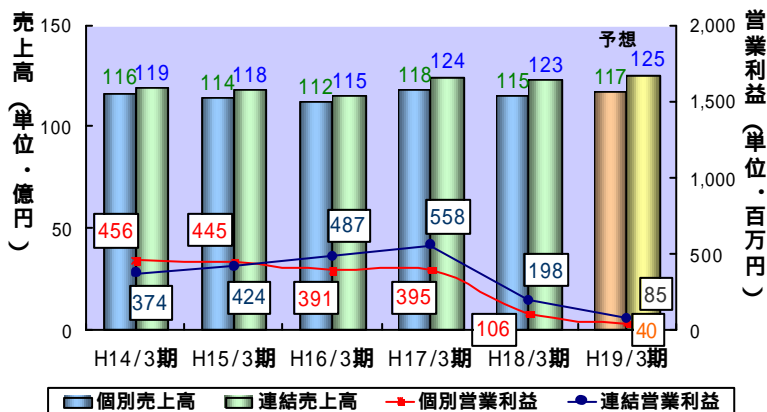
- ・原材料を始めとする部材調達のグローバル化を引き続き推し進め、原価低減を図る。



(12)

4.業績の見通し

売上高・営業利益のグラフ



売上高：下半期においては、上半期と同様の全額で推移する見込み

営業利益：原材料高騰の影響が下半期においても継続するが、販売価格の値上げ交渉及び原価低減により徐々に好転する見込み

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成18年12月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
 経営企画部 経営企画グループ
 〒671-2288
 兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号
 TEL 079-266-1200
 FAX 079-266-1206
 E-mail sanso@sanso-elec.co.jp